

令和5年度岩手県二戸保健所運営協議会 会議概要

1 開催日時
令和6年2月5日（月）18：30～20：00

2 開催場所
二戸地区合同庁舎 1階大会議室

3 出席者

【委員】

藤原淳委員（二戸市長）
山本賢一委員（軽米町長）
晴山裕康委員（九戸村長）
小野寺美登委員（一戸町長）
菅原光宏委員（二戸医師会長）
菅原光孝委員（二戸歯科医師会長）
金澤悟委員（二戸薬剤師会長）
斎藤薫委員（岩手県看護協会二戸支部副支部長）
小笠原敏浩委員（岩手県立二戸病院長）
佐々木由佳委員（岩手県立一戸病院長）
葛西敏史委員（岩手県立軽米病院長）
山口金男委員（二戸地区社会福祉協議会連合会長）
日脇邦昭委員（岩手県公衆衛生組合連合会二戸支部長）
中島敬委員（一戸町立小中学校長会事務局）
清川セイ子委員（岩手県食生活改善推進員団体連絡協議会二戸支部長）
脇澤忍委員（二戸地区広域行政事務組合消防本部消防長）

【オブザーバー】

安ヶ平和則氏（二戸市健康福祉企画課長）
日向康子氏（軽米町健康福祉課健康づくり担当課長）
浅水渉氏（九戸村保健福祉課長）
野崎貞春氏（一戸町健康子ども課長）

【事務局】

森谷保健所長、菊池次長、佐々木管理課長、工藤主幹兼福祉課長、東主幹兼保健課長、高橋環境衛生課長ほか保健所職員1名

事務局から、委員出席が17名（欠席者3名）であることを説明。

会長・副会長選出は自薦・他薦を募ったがなかったため、センター側から、従来どおり会長を二戸市長、副会長を岩手県立二戸病院長とする案を提示し承認を得る。

4 傍聴者

なし

5 主催者あいさつ

<森谷保健所長>

本日はお忙しいところ、本協議会にご出席いただきありがとうございます。

また、委員の皆さまには、保健・医療・福祉行政の推進について、日頃からご協力・ご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

当協議会は、地域保健法に基づき設置しており、地域の医療関係団体、行政機関、社会福祉施設等の関係者の皆様に、管内の地域保健及び保健所の運営に関する事項についてご協議いただく場として開催しております。

本日の会議は、保健所の令和5年度事業の実施状況について説明します。今まで通常の実業が新型コロナの影響で実施できなかったところですが、昨年の5月8日以降、新型コロナが5類に移行し、

通常の事業も順次、行うようになってまいりましたので、今年度まだ途中ですが、実績を報告させていただきます。

また、個別議題になりますが、5類移行になっても関係機関との調整、医療体制や研修会の開催等がございましたので、新型コロナの対応状況について5類移行の取組状況について説明いたします。

今年度は、医療計画、健康づくり計画、自殺対策アクションプランの策定を進めているところで、圏域においても「圏域版」の策定を進めておりますので、進捗状況についてご説明いたします。

また、二戸保健福祉環境センターの取組になりますが、人口減少・少子化対策の取組として、北いわて縁結び応援事業を県北地域で実施していますので、ご紹介させていただきます。

当協議会では今後の保健所運営に生かして参りたいと存じますので、皆様からの忌憚のないご意見を賜りたく、本日はよろしくお願ひします。

簡単ではございますが、開催に当たっての挨拶とさせていただきます。

6 議事

事務局から、保健所運営協議会条例第4条第2項の規定により会長である藤原委員を進行役に選出し依頼した。

(1) 令和5年度の岩手県二戸保健所業務概要について

<事務局による説明>

<質疑>

(小笠原委員)

医療従事者の確保対策についてご質問します。出前講座の実績が書いていませんが、5類移行となり増えているかどうか、また、アンケートの結果はどこで見るとか、この2点、お願いします。

(佐々木管理課長)

出前講座は新型コロナ発生以降、実施を見送っていましたが、5類に移行したことから令和6年度から再開する方向で進めております。アンケートにつきましては、先頃、中学校から出揃ったところで、医療従事者に対しどういったことを聞きたいか、どんな情報を知りたいか等を聞いた結果、出前講座を再開してほしいという声がありましたので、結果を踏まえ再開させていただきます。

(小笠原委員)

アンケートの結果は、概ね良い感じでしょうか。

(佐々木管理課長)

例えば、どのような学習の方法があるか、奨学金にどんな制度があるか知りたい等、そういった回答があります。アンケート結果については特に公表はしておりません。今後、出前講座を進めるうえで、二戸病院にお願いする予定ですが、研修担当者とその内容を踏まえ実施内容を考えていきたいと思っております。

(小笠原委員)

ありがとうございます。引き続きよろしくお願ひします。

(葛西委員)

情報提供を一つさせていただきます。カシオペア地域に、奥様が外国人の方が結構いらっしゃいますが、当地域でフィリピンの奥様をもらっている方のご家族がフィリピンに行って、犬に噛まれたという事例がありました。フィリピンでは、まだ狂犬病がありますので、本当は、日本で狂犬病ワクチンを受けていけばよかったのですが受けていかず、向こうで受けて帰ってきたのですが、フィリピンの持つ狂犬病ワクチンが日本には無く、日本で新規に5回受けるということがありました。

もし海外に行かれる方は、ワクチンのことも考えて行かれるようにした方がいいかと思ひます。

(山本委員)

引きこもり対策事業について、引きこもりの実態と対応についてお聞きしたい。

(東主幹兼保健課長)

コロナ禍で開催できていなかったもので、今年度久しぶりに開催してきたというところでは。

実際、我々もなかなか情報を集めることが出来ず、個人情報ということもあり実態が把握できかねるところです。ご家族からのご相談や市町村からのご相談といった情報をもとに対応しているところです。

(金澤委員)

生活保護のところ、二戸市分の記載がありません。

(工藤主幹兼福祉課長)

二戸保健福祉環境センターで管轄しているのが、軽米町、九戸村、一戸町であり、実施機関の違いで大変申し訳ありませんが二戸市のデータは掲載していません。

(菊池次長)

二戸市は二戸市で実施し、二戸市以外の町村を二戸保健福祉センターが行うというすみ分けがございます。

(安ヶ平二戸市保健福祉企画課長)

市の生保世帯につきまして、市が直接、生保の受給のほうを行っておりますため、今回、この資料への掲載はございませんが、必要があれば資料のほうを提供させていただきます。

(藤原会長)

よろしいでしょうか。次のときに載せるのであれば載せてもらうという方法もあろうかと思えます。

(2) 新型コロナウイルス感染症対応について

<事務局による説明>

<質疑>

(小笠原委員)

今、クラスターの話がありましたが、二戸病院で職員もクラスターがおきており、病棟も1つ、閉鎖しています。

どうも、株が変わって免疫をすり抜けるようで、免疫を持ってても感染する、症状が無くても調べれば出てくるといった状況で、保健所には病院調整の依頼はしていませんが、先週から踏ん張りどころで頑張っている状況なので、施設のほうも、無症状でもできますので、その辺りを御留意いただきたい。

(晴山委員)

今のお話にもあるのですが、無症状でもでるとということでウイルスの弱毒化とかいうお話も聞きますが、その辺おわかりになればお伺いしたいのですが。

(小笠原委員)

症状がでないひととはでないのですが、人によって個人差があるようでその辺り、あまり詳しいわけではないです。

(晴山委員)

保健所のほうでは何かわかりますか。

(森谷保健所長)

県内でも今、JN.1という株が流行していますが、関東ではもう50パーセント以上の割合がでています。

県内にJN.1が12月末から入ってきているような状況です。オミクロンになってから、弱毒化しているのか、それとも予防接種をしていて重症化の予防につながっているか、その辺りの要因はわかりませんが、オミクロンでも、若い人や元気な方より高齢者や体の弱い方の場合、どうしても重症化してしまう。そういう事案がクラスターが発生する高齢者施設で見られます。

インフルよりは少し熱が高いのかなと思います。

(山本委員)

ワクチンですが、これからの発生状況にもよると思いますが、いつまでワクチンを打たなければならぬでしょうか。

(森谷保健所長)

厚労省の感染症分科会で方針を決め、予防接種については市町村が実施主体となっておりますので、その関係で非常にお困りなのかと思いますが、普通のインフルエンザと同じような形になっています。高齢の方とかは予防接種しておいた方がよいかと。

(藤原会長)

ワクチン接種は今、国のほうが10/10ですが、市長会、町村会には、10/10ではなく、一部負担が出てくるといふうなことから、国のほうには10/10での要望をしているところで、これからの動きについて興味があるところです。

(森谷保健所長)

これから決まってくるところだと思います。

(葛西委員)

われわれ3病院ともクラスターを経験しています。皆さまご存じないと思いますが、病院でクラスターがおきると職員が出てこられなくなる。看護師さんたちが罹患すると休まなければいけなくなる。県立病院は主に7日間休むというルールでやっていますが、以前の2類のときは10日間でした。そうすると夜勤が組めなくなるという形になり、クラスターで病棟が全部つぶれたときには病院前の玄関のところに鎖で入れなくしました。救急隊には全部お断りしました。そのような状況になりますため、先程、二戸病院では今が踏ん張りところだとおっしゃっていましたが、病院の危機感と一般の方の危機感に温度差があって、外来の正面玄関のところには「熱がある方は入らないよう」提示していますが、それでも入ってくる方がたくさんいらっしゃいます。そうしますとわからないままに感染してしまう、そのようにしてうつった方は、最初の3日間は症状が出ませんので、そこでまた広げることがかつてありましたので、病院ではずっと、コロナ対策はきちんと行っています。

(3) 各種計画策定に係る進捗状況について

<事務局による説明>

<質疑>

(藤原会長)

特にも、自殺対策については時間をとって説明があったと思います。根本的に医師不足のなかで医療、福祉、介護のどの分野においても人材が不足するなか、働き方改革によってますます厳しくなっていくところで、岩手県医療計画あるいはアクションプラン、健康いわて21プランの実効性、実現性のあるものにしていくかということで、皆さん、どの項目をみても相当の質問項目があるかと思いますが、しぼってお願いします。

(佐々木委員)

私見ですが、高齢者の自殺が多いのは、高齢者にやさしくない地域からではないかと。それから、同居者はすべての年代、20～30代は別ですがそれ以外は、同居している各年代とも自殺者が多い。家族持ちの自殺が多いというのは、自分以外のことが原因ということがあります。

高齢者は健康問題というのは、当然、弱ってきますので、90代以上になると歩けなくなったとか、そうすると息子世代に申し訳ないという気持ちがある、そういう意味での健康問題です。だからいけない方がいいんだということで自殺をする。

また、そういった動けなくなった親を抱えつつ、若い世代は介護施設になかなか入所させることができない、それで自分が仕事を休んで介護しなければいけない、そうすると当然、経済的に厳しくなってくるといふ負のスパイラルがあるように日々の診療で感じているところです。

いろんな分野をお願いしていくということになりますが、まず高齢者を介護のほうが速やかに利用できるような、入所できるとか家で介護サービスを受けるとか。特に入所施設の待ちがすごく、入所できないので病院の病棟はほとんど入所待ちです。全員が施設に入ってもおかしくない、そういった介護福祉の充実が必要ですから、そちらの窓口との連携についてよろしくお願ひしたいと思うのと、若い世代の仕事、雇用する側の会社とか、個人の事業主・経営者、そちらがうまく仕事が回るような産業への働きかけ、相談する弁護士さんや気軽に相談ができるような窓口があればいいのではないかと、そうするとうまく回って、お互いに死ななくてすむ、そのような関係になっていくのではないかと考えておりますので、その辺りを盛り込んでいただければありがたいと思います。

(森谷保健所長)

先生がおっしゃった高齢者の自殺や、若い男性の自殺がもともとありますので、来年度、保健所のほうでもモデル地区を設定して対応を考えていくこととしています。医療も自殺対策医療については、保

健とか福祉の問題というふうに認識していますので、何でも先生方、医療の方に行く訳ではなく、なるべく医療の負担を軽減する意味で、保健・福祉のほうで充実させていきたいと考えています。

(藤原会長)

今日午前中、実は4人で介護保険等についての来年度からの報告について首長が集まり、そういうお話も出ましたが、介護保険料をおさえながらサービスは充実させるという、大変難しい問題、相反する方向でやっていかなければならないわけですから、我々、行政としても十分、話し合いながらやっていきたいと思っています。

(4) 北いわて縁結び事業について

(佐々木委員)

どうして女性が1,500円で男性が3,500円なのでしょう。

(工藤主幹兼福祉課長)

女性の方に積極的に参加いただき、おつきあいしていただいて、相手の方とできればゴールしていただいていることを念頭にしておりますので、女性の方ができるだけ参加しやすいように価格設定をさせていただいております。

(5) その他

(山本町長)

今日は委員の皆さんの御意見をお聞きして、ますます県と色々な団体との連携が非常に大事ななど感じました。自殺も非常に複雑な色々な要因があること、それからまた、Iサポも県が主導して動いていただいて非常に助かっております。

それから、うちは保育料の無料化、学校給食の無料化とか様々やっていますが、県で、第2子以降の3歳児未満に関する保育料の無償化をやっていただいております。非常に助かっております。

また、うちでは保育料の無料化を行っていますが、次はおむつの無料化などを考えています。こういった色々な連携を深めていただいてぜひ、これからもよろしく願いたい。

(藤原会長)

厳しいなかで新しい計画を作っていただいている大変だと思いますが、ここは青森県と接しているわけですので県境等を踏まえながら、医療とか商工業の振興とか様々なことがあると思われしますので、それらを考慮したような特色ある計画にもって行っていただければと思っているところでございます。以上でございます。ありがとうございました。

7 閉会